

プールの着替え、女子はいつも裸を隠そうとしなかった

僕が通ってた中学校のプール授業での話。更衣室がない学校だったから、着替えは全員、教室で済ませるしかなかった。しかも男女一緒に。体育教師の山本先生は遅刻に容赦なく、遅れた生徒には「やる気がないなら帰れ！」と怒鳴る鬼のような男だった。着替えの時間は5分。教室は、慌ただしさとざわめきでカオスと化していた。

僕たちのクラスは、3年間一度もクラス替えがなかった。入学したての1年生の頃、女子たちは男子の視線を気にして、教室の隅で縮こまり、タオルで体を隠しながら着替えたものだ。でも、3年も経つと、羞恥心はどこかへ薄れ、まるで家族のような妙な親密さがクラスに漂っていた。女子の7割近くが、何も隠さずにブラジャーを外し、パンツ

一枚の姿で平然とラップタオルを取り出し、腰に巻いて水着を準備するようになっていた。

林美咲は、クラスで一番目立つ女子だった。むっちりした体に、大きいおっぱい。ブラジャーを外すと、柔らかそうなおっぱいが重そうに揺れ、淡いピンクの乳首が丸見えに。高橋彩花は、華奢な体に小さなおっぱい。ブラを外すと、控えめな膨らみが露わになり、乳首は小さく尖っていた。筒井由香は、陸上部で引き締まった体を持つ女子。彼女のパンツはいつも黒だった。彼女たちは、タオルを巻く前、パンツ一枚で教室を歩き回り、机の上に水着を広げたり、友達と笑い合ったりする。その無防備さが、僕たち男子の視線を否応なく引きつけた。